

令和4年度 西原小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重の精神に基づき、知・徳・体の調和のとれた発達を目指し、自主・自立の精神を養い、日本国民の自覚をもって平和的な国家及び社会の形成者として貢献できる心身ともに健康な子どもを育成する。

〔目指す子供像〕

- 元気いっぱい活動する子・・・【元気】
- よく考え工夫する子・・・【がんばり】
- 思いやりがあり親切な子・・・【思いやり】

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

西原小は、多くの史跡や文化財に囲まれ、地域人材にも恵まれた地域にあり、創立110年の長い歴史の中で地域の人々の熱い思いに支えられ育てられてきた学校である。

このような地域の特性を踏まえるとともに、新学習指導要領で示された「資質・能力の三つの柱」（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間力」）を育成するために、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、「地域に開かれた信頼される学校づくり」、「知・徳・体の調和のとれた生きる力を育む教育の実践」、「チームとしての学校力を高めるための組織的な学校づくりの推進」を経営の基盤に据えて、教職員と家庭、地域が一致協力して確かな学力の育成、心豊かで心身共にたくましい児童の育成を目指す。

〔目指す学校像〕

心豊かでたくましく みんなで育て みんなで育つ 地域の学校づくり ～西原大家族の創造～

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

全教職員が信頼と協調を基盤とし、互いに高め合う人間関係の中で、学校経営に参画し、活力のある教育活動を推進すると共に、地域学校園における各学校間の連携を深め、小中一貫教育の充実を図る。

- (1) 未来に向かって「生きる力(必要とされる資質・能力)」を育む学習指導の充実・・・〔生きる力の育成〕
- (2) 夢を育む教育活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔キャリア教育の推進〕
- (3) 学年・学級経営の充実と個に応じた支援の強化・・・・・・・・・・・・・・・・〔学校生活の充実〕
- (4) 教職員の資質向上と学校力を高めるための組織的な学校づくりの推進・・・・・・・・〔学校力の強化〕
- (5) 学校・家庭・地域との連携を基盤とした開かれた学校づくりの推進・・・・・・・・〔信頼される学校〕

〔一条地域学校園教育ビジョン〕

基本をしっかり身に付け、地域に生きる子供を育む一条地域学校園

4 教育課程編成の方針

- 1 教育基本法、学校教育法及び同施行規則、学習指導要領を踏まえ、栃木県教育委員会の指導の指針、宇都宮市教育委員会の「うつのみや “いきいき学校” プラン」「うつのみや元気っ子プロジェクト」「宇都宮市学校教育スタンダード」の示すところに従うとともに、地域とともにある学校づくりの趣旨を踏まえ、社会に開かれた教育課程を編成する。
- 2 教育目標の具現化を図るため、本校の実態（施設・設備・職員構成・地域環境）、児童の発達段階や特性、地域社会や保護者の願いなどを踏まえ、心豊かでたくましい児童の育成を目指し、知・徳・体の調和のとれた生きる力を育む教育課程を編成する。
- 3 生きる力の基礎となる資質・能力を育成し、自ら学び、自ら考える力の育成と基礎的・基本的な学力の確実な定着と向上が図れるよう、各教科・道徳・特別活動及び総合的な学習の時間・宇都宮学・プログラミング的思考力を育成する学習・外国語活動及び外国語科の特性を生かしながら、本校ならではの「学び続ける力」を核とした教科横断的な視点に立って教育課程を編成する。
- 4 小中一貫教育の趣旨を踏まえた各教科等の「育てたい力」を教育課程に反映させ、義務教育9年間を通した学力保障につなげることができるようにする。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】 ・全教職員による目的の共有化と学校経営参画意識の醸成 ○校務・事務の適正化と勤務時間を意識した働き方改革の推進 【学 習 指 導】 ・よりよく生きるために学び続ける児童の育成 ○主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善 【児 童 生 徒 指 導】 ○ほめて育て、認め合う指導の徹底とお互いを尊重し合える人間関係の確立 【健康（体力・保健・食・安全）】 ○自ら体力を伸ばす態度や自己の健康管理能力の育成を図る指導

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項 目	評価項目	主な具体的な取組	方 向 性	評 価
目 指 す 児 童 の 姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①児童一人一人が主体的に授業に参加し、自分の考えをもって学習が進められるように授業の展開を工夫する。 ②児童が互いの意見を交流させることができる場の設定を意図的に設定する。 ③「学習の約束」の指導を徹底することで、聞き方や話し方の基本を身に付けさせる。 ④児童一人一人が「学び続ける力」を身に付けられるようカリキュラム・マネジメントに努め各種計画に反映させていく。 ⑤振り返り活動「今日の学び」を授業の終末時に行うことで学びの意識付けができるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①学校生活全般にわたり、他者に対して優しく接する行動や思いやりのある行動が見られる児童を賞賛するとともに、すべての教育活動の場で支援・指導する。 ②道徳教育の充実を図る。 ③主に学級活動や朝や帰りの会において、学級での認め励まし合う活動を通して思いやりの心を育む。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、きまりやマナーを守って生活をしている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①「学習の約束」や「西原小よい子の一日」、「西原小みんなのやくそくGGO」の指導徹底を図るとともに、児童自身が自分の生活を振り返り、規範意識を高める機会を定期的に設ける。 ②生活当番活動を通して、日常の生活の様子を把握し、校内の巡視等を行うとともに、実生活の場で直接指導する。 ③学校生活に関わるルールを整理し、教職員も児童も分かりやすく示すことで、全教職員が共通理解のもと、同一歩調で指導にあたる。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	①児童会活動を中心とした「朝のあいさつ運動」や「地域学校園あいさつ運動」を実施する。 ②日常的に「こんにちは」「ありがとうございます」等の挨拶が自ら進んでできるよう、教職員から積極的に声かけを行う。 ③来校者や校外でも挨拶が<u>しっかりと</u>できるように、具体的に指導していくとともに、機会を捉えて保護者や地域にも協力を呼びかける。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 ・全体アンケート「私（児童）は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	①校長表彰や各種表彰の機会を生かし、児童一人一人のよさを認めることで、活動意欲を喚起する。 ②児童一人一人の目標と目指す子ども像を関連付けることで「元気・がんばり・思いやり」を明確にして取り組んでいけるよう支援する。 ③児童が頑張る様子を各種たより等で保護者に伝えることで、家庭との連携強化を図る。 ④夏休み前に記入する自己評価シートやキャリアパスポートなどを活用して、児童が頑張っている様子や努力の成果が保護者に伝わるようにしていく。	【達成状況】 【次年度の方針】

A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①児童一人一人の安全に対する意識が高められるよう、具体的な場面での安全指導を充実させる。 ②定期健康診断の結果を活用し、自分の体や健康に関心をもたせる。 ③掲示物「コロナウイルスをやっつけろ」や健康委員会呼びかけ、換気チェック等、本校ならではの新型コロナウイルス感染症対策を周知徹底し、家庭とも連携して感染防止に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 ・全体アンケート「私（児童）は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	①年間を通じた地域の行事等の周知に努め、地域の関係団体との連携を図りながら、地域行事への参加を呼びかけ、地域の一員としての自覚を高めるよう、支援する。 ②教職員が地域関連行事等に積極的に参加することにより、児童の地域活動への参加を促す。 ③地域の行事の振り返りを各種たより等で紹介して、児童が夢や目標をもって社会に貢献しようとしている意思が保護者に伝わるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、外国語活動の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①英語の単語やフレーズに慣れ親しませるために、意図的に日常生活の中で使うようにする。 ②校内研修にALTとの英会話研修の時間を確保し、教職員の英語力向上を図る。 ③中学校からの高学年への英語乗り入れ授業を月1回実施することで、児童の英語を使ったコミュニケーション力の向上を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 ・全体アンケート「私（児童）は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	①「ふるさとウォークラリー」等を通して歴史的な文化財や史跡が点在する自分の学区に興味をもたせ、宇都宮のよさに気付かせる。 ②視点を「西原」から「宇都宮」に広げ、郷土の歴史や文化への興味・関心を高めるように努める。 ③児童の活動や振り返りを1人1台端末のクラスルームに載せるなどして、児童の学びを保護者に知らせる工夫をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 10 児童は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①学習場面に合わせてパソコンやタブレット等のI C T機器や図書等を学習に効果的に活用する。 ②学校図書館司書業務嘱託員と連携し、学習に関連する図書の紹介と図書館の利用喚起を図る。 ③放課後研修を位置づけたり、TTとして授業実践を行ったりして、ICT支援員の効果的な活用を図る。 ④情報教育主任による校内への情報発信やICT支援員との研修において教職員のタブレット活用の教育実践力の向上を図り、児童が「日常の文具」としてタブレットを活用できるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①地域の高齢者の方々に学習支援や行事等への参加を可能な限り呼びかるとともに、手段を工夫して、交流する場を設ける。 ②日々の教育活動全般を通して、他者を思いやる気持ちの醸成に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、環境問題や防災等の『持続可能な社会』について関心をもっている。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	①環境問題を教科横断的に捉え、日常生活と深く結びついていることに気付かせるとともに、日常の具体的な行動に結び付けられるよう、働きかける。 ②「持続可能な社会」について児童の関心を高めるため、SDGsに係る掲示物の各教室の掲示や、各種便りによる啓発に努める。 ③児童が持続可能な社会について自ら意識して取り組むことができるような活動内容を工夫する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 児童は、自分の考えが深まり、学びの実感が得られるノートづくりをめざしている。 【数値目標】 ・全体アンケート「私（児童）は、授業中大切なことや自分の考えをノートに書いている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「教職員は、児童が自分の考えをうまく表せるよう授業の展開や指導方法を工夫している。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①思考の変容が見える板書を工夫したり、お互いの考えを交流させたりする活動などを取り入れながら考える力を伸ばす。 ②思考を深めたり、学びを蓄積したりするノートづくりへの支援に努め、児童が自らの学びを実感できるような振り返り活動を充実させる。 ③1人1台端末を活用してクラスルームに授業の取組や児童のノートをあげることで、保護者にも伝わるようにしていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
目指す学校	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ・全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①児童の実態を的確に捉え、全教職員が共通理解を図る場を適宜設定する。 ②短期的な目標、中期的な目標の共有を図るとともに、保護者、SC、関係機関と連携しながら、一貫性のある支援ができるよう、工夫する。	【達成状況】 【次年度の方針】

の 姿	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 ・全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	①「西原小学校いじめ防止基本方針」について共通理解を図り、教職員は児童理解を深め、信頼関係の構築に努める。 ②「いじめゼロ強化月間」を設定し、児童会を中心とした児童主体の取組を行うとともに、授業や生活のあらゆる場面をとらえていじめを許さない態度や実践力を育て、活動の様子を保護者に積極的に伝えていく。 ③児童や保護者からの相談に誠意をもって対応するとともに、指導の記録を残す。 ④学年の発達の段階や状況に応じた、名字にさん付けの呼び方により、いじめを生まない風土づくりに努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 ・全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「教職員は、一人一人の児童を大切にし、児童がともに認め励まし合う学級経営を行っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	①学校として組織的な不登校対応について共通理解を図るとともに、児童の実態や家庭環境等を十分把握した上で、個に応じた支援や指導を行う。 ②児童一人一人が「居がいい」を感じる学級づくりを基本としながら、さまざまな活動の中で、成就感や満足感を味わうことができるような学級経営を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ・全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①児童の実態を的確に捉え、日本語指導講師やボランティアと連携しながら、当該児童や保護者への計画的・継続的支援に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

A 17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 ・全体アンケート「私は、今の学校が好きです。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	①校長表彰の機会を活用するなど、児童一人一人の頑張りやよさを認めたり、善行を奨励したりする場を設定し、認め励ます教育を推進する。 ②多くの児童が認められ活躍できる機会を増やし、特別活動を中心に児童が生き生きと主体的に活動し、楽しく学べるようにする。 ③本校ならではの取組や活動の様子を反映させた作品等の掲示を工夫することにより、学校全体に楽しい雰囲気を醸成する。 ④ペア学習やグループ学習など活動形態を適宜工夫し、主体的に活動する場面を多く設定することで、満足感が味わえるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 ・全体アンケート「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①学力調査に基づいた基礎基本の確実な定着を図るとともに、主体的・対話的な学習の展開と発問の工夫及び振り返り活動の充実に努める。 ②発達の段階や個性に応じた学習支援を大切にし、家庭との連携を図り、家庭学習の習慣化を目指す。 ③教職員が連携し、学年間で定期的に教科指導の在り方や教材研究について話し合う機会を設け、よりきめ細やかな指導を目指す。 ④教科担任制の導入により、それぞれの専門性を生かして質の高い授業を展開することによって、児童の学力向上を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 ・全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①職員全員が、それぞれの立場で積極的に児童と関わりながら、各自の専門性を生かして職務を遂行する。 ②かがやきルーム指導員、学校図書館司書、学校栄養士、学校業務員等、それぞれの勤務形態の可能な範囲で、児童会活動や職員研修等への参加を呼びかけ、「チーム学校」を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】

A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 ・全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①学校図書館司書、かがやきルーム指導員、学校栄養士、A L T等の専門性を生かした校務の分担を工夫する。 ②勤務時間の自己管理を通して、勤務時間を意識した働き方に努めるとともに、定時退勤や年休取得を進め、働き方に対する意識の変革を図る。 ③趣旨や目的を踏まえながら業務内容の縮減が可能な学校行事を見直したり、月に1回以上のリフレッシュデーを各自設定し、実行したりする。 ④西原小のトビラや掲示板、HPの活用により、可能な限り業務を縮減し、ペーパーレス化を進める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 ・全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 85%以上	①地域学校園一体となったあいさつ運動を展開する。 ②情報モラル教育に対して共通理解のもと保護者への啓発を行う。 ③地域学校園お弁当の日の実施や投げる力や走力アップへの取組、低視力対策などを連携して行い、地域や保護者にその情報を発信する。 ④地域学校園における他の小中学校とのG I G Aスクール構想についての情報交換を通して、本校児童のタブレット活用を推進する。 ⑤各教科等における地域学校園「育てたい力」を意識しながら、日々の学習活動に取り組むとともに、各種データに基づく検証を行う。 ⑥各種便りや学校HPで地域や保護者への情報発信を継続することで、「小中一貫教育・地域学校園」の取組について、周知する。	【達成状況】 【次年度の方針】

A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 ・全体アンケート「学校は、家庭、地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	①年間計画に位置付けて、地域の人材・教材・施設等の地域の教育資源を有効に生かし、地域と共に育つ学習の充実に努める。 ②コロナ禍後の本校教育活動を見据え、アンケート等により保護者や地域の意向を十分に反映させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 ・全体アンケート「学校は、家庭、地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	①保護者やサポーター会議（魅力ある学校づくり地域協議会）、地域団体等に本校のグランドデザインを分かりやすく示すことで、地域に開かれた学校づくりに努める。 ②教職員が可能な限り地域の行事に参加し、相互理解が深まるよう努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 ・全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	①日常的に施設設備の安全に目を配り、修繕が必要な場合は迅速に対応する。 ②定期的に安全点検を実施するほか、生活当番を中心として日常の校内巡視を行い、安心して生活できる環境づくりに努める。 ③校内施設の担当者や使用者は、普段から物品管理、整理整頓を行い、安全で安心できる環境づくりに努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	A25 学校は、学習に必要なＩＣＴ機器や図書等を整えている。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①大型テレビやパソコン、タブレット等の有効活用に努め、児童がＩＣＴ機器に触れる機会を多く持てるようにしたり、学習指導に役立てたりする。 ②計画的に図書・教材等選定委員会を開き、分類ごとの過不足や利用状況等をもとに、図書室の利便性を高める手立てを検討する。 ③ＧＩＧＡスクール構想について保護者への周知に努めたり、環境整備や児童のスキル向上を目指したりする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 学校は、楽しく学べる地域とともにある学校づくりに努めている。 【数値目標】 ・全体アンケート「先生は、地域の人と協力しながら、楽しい学校になるように工夫している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「学校は、家庭・地域と信頼関係を築きながら活動のめあてを明確にして教育活動を行っている。」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	①うつのみやオープンスクールをはじめ、学校公開（授業参観や集会活動、学校行事等）の機会を充実させ、地域とともに歩む「地域の学校づくり」の取組を参観してもらう機会を設ける。 ②学習内容や学校での諸活動の様子を、定期的に各種便りやＨＰなどを通して、保護者や地域に対し分かりやすく情報発信し、本校の教育活動への理解を促進する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B3 児童自ら判断し、主体的に取り組むことができる活動の充実に努めている。 【数値目標】 ・全体アンケート「私（児童）は、自分で判断し工夫して学校行事や係活動などに取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「教職員は、児童自ら判断し活動できるような場の設定や支援を行っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①活動の目的をきちんと捉えさせ、自分の活動をイメージさせた上で、より具体的に自分のめあてをもたせる。 ②児童が自ら計画・実践できる機会を増やし、より主体的に活動できるように支援する。 ③学校行事や係活動の目的と目指す子ども像を関連付けることで、児童が目的を意識した取組が図れるように支援する。	【達成状況】 【次年度の方針】

	B4 児童は目標をもって自分の健康や体力の向上に進んで取り組んでいる。 【数値目標】 ・全体アンケート「私（児童）は、めあてをもって自分の健康や体力の向上に進んで取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「教職員は、児童の健康や体力の向上のための活動を工夫して行っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①児童一人一人の状況を把握した上で、保健指導や体育の授業の充実を図り、自分の健康や体力に関心をもたせる。 ②委員会が主催する体育的イベントへの積極的参加を促し、運動の日常化を図る。 ③教科体育の充実を図り、そこで得た学びを学校生活や家庭の時間に広げるために、児童会や家庭と連携しながら活動を進める。 ④学年だよりや体育の宿題を通して、健康や体力向上の取組を家庭へ広げていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
--	--	---	-------------------------------

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。